

第 2 期八雲町総合計画町民会議 実施結果

1. 目的

今後 10 年間のまちづくりを見据える中で、町民と行政が一緒になって意見・アイデアを出し合い、新たな事業・施策の検討・提案していただくこと、さらに、町民と行政の協働の実践・体现の場となることを目的としている。

2. 開催日時

第 1 回 平成 28 年 11 月 14 日 (月) 18:00～21:00

第 2 回 平成 28 年 11 月 30 日 (水) 18:00～21:00

第 3 回 平成 28 年 12 月 16 日 (金) 18:00～21:00

3. 参加人数

67 名 (一般町民 9 名、総合開発委員 12 名、町議会議員 7 名、町職員 29 名、事務局 10 名)

4. グループ・提案事業

①保健・医療・福祉グループ

- 地域ふれあい・いきいきコミュニティサロン開設事業
- 地域と地域を繋ぐデマンド型コミュニティ交通導入事業

②教育・子育てグループ

- みんな幸せプロジェクト

③交流・連携・協働グループ

- 住民と行政による協働のまちづくりの推進

④社会生活基盤・自然環境グループ

- 自然に優しいリサイクル推進事業
- 呼び起こそう！「自然美術館 八雲」
- 自然を活用した新幹線駅まちづくり整備事業

⑤産業雇用グループ

- 地域産業育成基金 (新チャレンジ基金)

# 保健・医療・福祉グループ①

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| <p><b>課題テーマ</b></p>  | <p>地域における支え合いを実現するために</p>   |  |  |
| <p><b>提案事業・施策の名称</b></p>   | <p>地域と地域を繋ぐデマンド型コミュニティ交通の導入事業</p>   |  |  |
| <p><b>提案事業・施策の内容</b></p>   |   | <p><b>提案事業・施策の取り組みの図解（イメージ）</b></p>  |  |
| <p>【事業内容】・コミュニティ拠点であるサロンでは将来的に、利用者の調整を行い、デマンド型コミュニティ交通サービス（乗合タクシー等）を提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料金は低額とする（定額方式か距離別方式）</li> </ul> <p>【参加者】・コミュニティ交通への支援：八雲町</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画、運営：民間企業、NPO 法人、町内会、社会福祉協議会等</li> <li>・運行：タクシー会社等</li> </ul> <p>【設置内容】・八雲町が助成金等で運用を支援し、将来的にコミュニティ拠点（サロン）が予約調整業務を行い、受託業者が運行を行う（料金徴収含む）</p> |   | <p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急速な少子高齢化による人口構成の変化や核家族化を背景に、地域の相互扶助機能が低下している</li> <li>・高齢になり自動車免許を持ってない、または自主返納するなど、公共交通機関以外の区間を移動できない人が今後増える ・車が無いと家から出ることができない</li> <li>・高齢ドライバーの事故が増えているが、自主返納を促せない</li> <li>・車が無いと買い物、医療機関に行くことができない</li> <li>・14 年後に新幹線が開業するが、新幹線駅と他の公共交通機関を結ぶ 2 次交通が決まっていない</li> </ul> <p>【問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化となり自動車を持っていない人、持てない人が外に出ていく手段がない。</li> <li>・車に乗せてくれる人がいない（気軽に頼めない）</li> <li>・公共交通機関と家を結ぶ手段がタクシーしかなく、高齢者や障がいのある方が孤立する</li> <li>・八雲高校の生徒の通学に合う時間帯での公共交通機関がない</li> </ul> <p>【問題の原因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の繋がりの希薄化 ・公共交通機関（JR、バス等）の間を結ぶ安価な交通手段がない</li> </ul> <p>【資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス ・既存タクシー会社の利用</li> </ul> <p>【イメージ図】</p> |  |
| <p><b>具体的な目標</b></p>   | <p><b>期待される効果</b></p>   |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障がいのある方が外に出る機会を増やすために、デマンド型コミュニティ交通の整備を行う</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を 1 人にしない ・買い物難民の解消</li> <li>・高齢者の活動量が増え、健やかな生活ができる</li> <li>・人の交流が増え、地域力を高める</li> <li>・町内で買い物をする人が増え、経済活動につながる</li> <li>・病院の受診機会が増える</li> <li>・重症化を防ぐことで、医療費の低下を促す</li> </ul> |  |  |
| <p><b>住民・地域の役割</b></p>   | <p><b>町（行政）の役割</b></p>  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の利用率を上げる</li> <li>・利用促進のための PR 活動</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド型コミュニティ交通の整備</li> <li>・運行会社への支援（経費（燃料費）の助成</li> </ul>   |  |  |

# 保健・医療・福祉グループ②

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>課題テーマ</b></p>   | <p>地域における支え合いを実現するために</p>   |   |
| <p><b>提案事業・施策の名称</b></p>  | <p>地域ふれあい・いきいきコミュニティサロン開設事業</p>   |   |
| <p>提案事業・施策の内容</p>   |   | <p>提案事業・施策の取り組みの図解（イメージ）</p>  |
| <p>【事業内容】・高齢者や子ども、障がいのある方など幅広い世代が集まる拠点（サロン・居場所）づくり<br/>（八雲本町商店街、落部・熊石中心部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八雲総合病院をはじめとするなど保健・医療・福祉事業者によるアウトリーチ型（現場出張）サービス（講演、リハビリテーション等）</li> <li>・飲食の提供、町民のアイデア（不用品交換、作品等の販売、作品展・作業体験等）を実現できるコミュニケーションの場</li> <li>・将来的に、デマンド型交通の受付等を担う</li> </ul> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空店舗などの施設改修等開設に必要な初期投資は町が支援する</li> <li>・企画、運営は、民間、NPO法人、町内会等を想定（公募する方式も）</li> </ul> <p>【設置内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設型サロン：民間事業者等が常駐者を配置し運営を行い、ボランティア（有志町民・学生等）が企画や参画できる体制を作る</li> <li>・臨時型サロン（地域型拠点）とも連携する</li> <li>・臨時型サロン：地域会館を利用し、町内会と連携する、常設型サロン（中心拠点）と連携する</li> </ul> |   | <p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急速な少子高齢化による人口構成の変化や核家族化を背景に、家族介護などの機能が弱まっており、地域の相互扶助機能の低下と相まって、地域で孤独な高齢者や障がいのある方などを見守り、居場所をつくる体制づくりが必要とされる</li> <li>・地域福祉、とりわけ共助への理解を深め、互いに支え合う意識を高揚させ、町民・利用者が福祉事業に参加しやすい環境づくりが必要</li> <li>・少子高齢化時代を迎え、多様な世代が健やかで活動的に生活するための気軽に立ち寄れるコミュニティの拠点が必要</li> </ul> <p>【問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居老人等の状況把握等、保健福祉分野で地区毎にその内容に差がある</li> <li>・地域力をどうアップしていけば良いかわからない ・子どもが他の世代と交流する場所が少ない</li> <li>・町内会の構成員が町内会の状況やどこにどんな人がいるかわからない</li> <li>・高齢者の孤独死 ・子どもや高齢者などが気軽に集まれ交流できる場所が少ない</li> <li>・行きたくても交通手段がない ・事業を担う人がいない</li> </ul> <p>【問題の原因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の繋がりの希薄化 ・町内会等地域における相談役・リーダーの不在、担い手不足</li> <li>・ヘルパー等の数が足りない（マンパワー不足）</li> <li>・世代間交流をする場がない ・相談窓口などの存在が知られていない</li> </ul> <p>【資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家、空き店舗がある ・町内会などの地域福祉活動 ・地域会館の活用</li> <li>・地域の行事と若者の参加による地域力アップ</li> </ul> |
| <p><b>具体的な目標</b></p>  | <p><b>期待される効果</b></p>   | <p>【イメージ図】</p>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども～大人まで多様な世代が利用できる出かけたくなるコミュニティ拠点の設置</li> <li>・初めは小さく、徐々に事業規模拡大</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障がいのある方に孤独感を与えない</li> <li>・地域力を高める ・介護予防の効果</li> <li>・町民同士の交流により新たな共生のアイデアを創出</li> <li>・町の中心地にあるので通いやすい（空き店舗、地域会館）。町内各地からさまざまな人材の参画を期待</li> <li>・行政と町民の情報交流がしやすくなる</li> <li>・外出の機会を増やし、閉じこもりなどを防ぐ。</li> </ul> | <p>【イメージ図】</p>  |
| <p><b>住民・地域の役割</b></p>  | <p><b>町（行政）の役割</b></p>  | <p>【イメージ図】</p>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画、運営を行う</li> <li>・町民有志（小中高生も含む）などもボランティア参加し、地域力のアップに繋げる</li> <li>・生活情報、家庭菜園等の野菜などを持ち寄り提供</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営者への支援</li> <li>施設改修、修繕、経費（家賃、水道光熱費、人件費等）の助成</li> </ul>  | <p>【イメージ図】</p>  |

# 教育・子育てグループ

|  |  |   |
|--|--|---|
| <b>課題テーマ</b>   | ○子育て支援の輪を繋げ、広げていく地域づくり ○子どもの人権が守られ、子供が主役になれる町づくり   |   |
| <b>提案事業・施策の名称</b>  | みんな幸せプロジェクト  |   |
| <b>提案事業・施策の内容</b>  |  | <b>提案事業・施策の取り組みの図解（イメージ）</b>  |
| <p>&lt;事業の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇子育て支援のためのプロジェクトチームをつくる。</li> <li>◇今ある事業（イベントなど）を活用して、気軽に話が出来る環境をつくる。</li> <li>◇子どもたちにイベントを企画する場をあたえ、子ども達が主役になれる場をつくる。</li> <li>◇子育て相談員として活動するための勉強会、学習会の開催。</li> </ul> <p>&lt;参加者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇行政、一般町民、学校の先生、子育てに興味がある方、子育ての支援をしたい方、イベントを企画したい方を基本に考えているが、興味がある方は誰でもOKとする。（学生も可）</li> <li>◇チームは10名～15名程度の予定だが、最終的に各町内会ごとに子育て相談員を配置したい。</li> </ul> <p>&lt;プロジェクトチーム会議での検討内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇月1回程度開催。町や民間が開催するイベント情報を集約し、参加できるイベントの決定を行い、相談のための場を確保するための検討を行う。</li> <li>◇自分たちでイベントを企画する。あわせて、子供達にも企画・運営する場をつくるための検討を行う。</li> </ul> |  | <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e6f2ff;"> <p style="text-align: center;"><b>【背景】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇行政に相談した時に、たらい回しにされるのが嫌だ。</li> <li>◇なんでも聞ける人がいて、どこに相談に行ったらよいか教えてくれる人がいない。</li> <li>◇恥ずかしくて相談に行けない。自分の育て方が悪いと思ってしまう。</li> <li>◇子育て支援に関する情報は、どこを見ていいかわからない。</li> <li>◇学校が統合され、授業が終わるとスクールバスで帰ってしまう。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e6ffe6; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【問題点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇親に余裕がない、1人で考え過ぎてしまう。</li> <li>◇町にどのような子育て支援制度があるか分かる人が少ない、うまく利用されていない。</li> <li>◇学校以外で学ぶ場（遊ぶ場）が少ない。</li> <li>◇気軽に相談できる人がいない。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> </div> <div style="border: 1px dashed green; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e6ffe6; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p><b>プロジェクトチームの結成</b></p> <p style="text-align: center;"><b>【問題解決(案)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇みんな似たような悩みをもっていることを共有。</li> <li>◇過去の相談事案についての情報提供。</li> <li>◇行政には相談しにくいので相談員を配置し相談しやすい環境をつくる。（行政と相談者の橋渡し）</li> <li>◇相談に来るのを待つだけではなく、人が集まっているところへも参加する。</li> <li>◇子どもが主役になれる場の創出</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #ffe6e6; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p style="text-align: center;"><b>【課題・注意点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇考えの押し付けや、不安を煽らない。</li> <li>◇価値観を押し付けない</li> <li>◇○×で判断しない</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e6ffe6; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p style="text-align: center;"><b>【将来的には】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇まずは、各地域に出向き、活動を知ってもらうことから始め、将来的には、各町内会に子育て相談員の配置を目指す。</li> </ul> </div> |
| <b>具体的な目標</b>  | <b>期待される効果</b>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◇子育てに悩む家庭の孤立を防ぎ繋がりを深める。</li> <li>◇最終的な目標は、各町内会に子育て相談員の配置。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇相談しやすい環境</li> <li>◇孤立化を防ぐ</li> <li>◇自ら企画することによる、地域の活力の向上</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>   |   |
| <b>住民・地域の役割</b>  | <b>町（行政）の役割</b>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◇プロジェクトチームへの参加</li> <li>◇イベント等への参加・運営</li> <li>◇各地域の子育て世帯数や孤立していないかなどの情報発信</li> <li>◇経験し学んだことの地域への還元</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇子育てに関する情報提供。（データ化し、いつでも見られるようにする）</li> <li>◇各イベント等への場所の提供</li> <li>◇プロジェクトチームへの参加</li> <li>◇人材育成のための研修会・学習会の開催</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> |   |

# 交流・連携・協働グループ

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p><b>課題テーマ</b></p>  | <p>住民と行政、地域と地域が力を合わせるためにはどうしたらいいか</p>  |  |
| <p><b>提案事業・施策の名称</b></p>   | <p>住民と行政による協働のまちづくりの推進</p>   |  |
| <p><b>提案事業・施策の内容</b></p>   |  | <p><b>提案事業・施策の取り組みの図解（イメージ）</b></p>  |
| <p>&lt;施策の内容&gt;</p> <p>◇より多くの町民に協働のまちづくりを浸透させるため、年に一度「協働の日」を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「協働の日」には、協働のまちづくりに関して、①団体・企業・個人による事例の発表、②児童生徒による主張・提言、③優れた取組み・活動に対する表彰(ボランティア活動、まちづくりイベント等)などを行う。</li> <li>・開催場所は、はびあ八雲を想定</li> </ul> <p>◇協働に対する意識の底上げを図るため、3ヵ月に一度、町民団体・企業・役場職員等による「協働のまちづくり会議（仮称）」を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換、交流の場として開催し、参加しやすい内容とする。(例：同世代会議)</li> <li>・開催場所は、八雲地域（落部地域含む）・熊石地域の輪番とする。</li> <li>・運営主体として、役場各課、賛同する町民団体・企業からなるプロジェクトチームを組織する。</li> </ul> <p>◇学校教育の一環として、月に一度「協働の学習」の時間を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの目線でまちづくりについて考える場とする。</li> <li>・総合学習の時間に実施し、必要に応じて講師を派遣する。(「協働の日」の主張・提言につなげる。)</li> </ul> <p>◇町民の情報交換や、情報取得の場として、老若男女が集まり談笑・交流できるような「サロン」を設置する。</p> <p>◇役場各課が持ち回りで協働に関する記事を町広報に掲載する。</p> |  | <div style="border: 1px solid #00a0e3; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【背景】</b></p> <p>◇限られた資源を有効に活用し、持続可能なまちづくりを展開していくには、地域住民の参画と協働の仕組みが必要</p> <p>◇平成 22 年 4 月「八雲町自治基本条例」を施行</p> <p>◇平成 24 年 3 月「八雲町協働のまちづくり推進プラン」を策定</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid #00a0e3; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>【具体的な問題点】</b></p> <p>◇協働によるまちづくりを進めるという意識が全体に浸透していない。</p> <p>◇行政情報を知らない。</p> <p>◇町民が町政に関心を持っていない。</p> <p>◇町民が行政に対して声を上げても届かないというあきらめがある。</p> </div> <div style="border: 1px solid #00a0e3; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>【(問題の)原因として考えられること】</b></p> <p>◇協働に対する理解が進んでいない。</p> <p>◇情報の公開や共有が十分にされていない。</p> <p>◇町民が行政に求めることが少なくなっている。</p> <p>◇高齢化の進行による人材不足</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed #00a0e3; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【課題解決に向けた取組み】</b></p> <p>◇町民の心に火をつける ◇地域防災等の身近な課題解決のため、老若男女の参加を深める機会を設ける。</p> <p>◇行政が情報を積極的に公開する。 ◇町民としての意見を述べ、考えを発信する。</p> <p>◇町政に対してアイデアを提言する。</p> </div> |
| <p style="text-align: center;"><b>具体的な目標</b></p>   | <p style="text-align: center;"><b>期待される効果</b></p>  |  |
| <p>◇「協働の日」や「協働のまちづくり会議」等を通じて、町民・行政が一体となって協働のまちづくりに対する意識を深め、協力・補完しながら課題を解決し、住みよいまちの実現を図る。</p>   | <p>◇町民のまちづくりへの関心や参画意識の向上</p> <p>◇町職員が町民と対話することによる町民意識への理解促進とまちづくりの課題を共有する。</p> <p>◇仲間づくりや生きがいづくりの機会拡大</p> <p>◇町民と行政（町職員）の協働の推進</p> |  |
| <p style="text-align: center;"><b>住民・地域の役割</b></p>   | <p style="text-align: center;"><b>町（行政）の役割</b></p>   |  |
| <p>◇「協働の日」「協働のまちづくり会議」への参加・運営</p> <p>◇行政運営への参画</p> <p>◇協働のまちづくりの推進</p>   | <p>◇「協働の日」「協働のまちづくり会議」の企画・運営</p> <p>◇行政情報の公開方法の工夫</p> <p>◇行政運営への町民の参画機会の拡大</p> <p>◇協働のまちづくりの推進</p>                                 | <div style="text-align: center;"> <p><b>住民と行政による協働のまちづくりの推進</b></p> </div>   |

# 社会生活基盤・自然環境グループ①

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| <p><b>課題テーマ</b></p>   | <p><b>生活環境に関する施策</b></p>  |   |  |
| <p><b>提案事業・施策の名称</b></p>  | <p><b>自然に優しいリサイクル推進事業</b></p>   |   |  |
| <p><b>提案事業・施策の内容</b></p>  |   | <p><b>提案事業・施策の取り組みの図解（イメージ）</b></p>   |  |
| <p>&lt;事業の内容&gt;<br/>○町民ひとりひとりのゴミ分別への協力を推進し、ゴミの減量、資源のリサイクルを促すため、町内会単位によるゴミの集団回収やゴミステーションの設置増加、さらにしっかり分別の意思表示をする町民用ゴミ袋の設ける等によりしっかり分別する町民の経済的負担を軽減できる事業を検討・提言する。</p> <p>&lt;参加者&gt;<br/>○八雲町内産業団体<br/>○町内会連絡協議会<br/>○公募等によるまちづくりに関心のある町民や各種団体に所属する町民など<br/>○行政職員</p> <p>&lt;開催の流れ&gt;<br/>○（第1回）検討課題設定⇒（第2回）課題の解決策の検討⇒（第3回）提言・提案の取り纏め</p> |   | <p><b>【背景】</b><br/>◇都会と比較し、環境問題の意識が低い（海岸のごみが目立つ等）<br/>◇自治体毎で分別方法が異なる（八雲地域、熊石地域でも異なる）<br/>◇分別する種類の煩雑さ、ゴミ袋の種類多さ、ゴミ袋代の経済的負担<br/>◇分別する理由、根拠の周知不足</p> <p><b>【具体的な問題点】</b><br/>○ゴミ分別となる根拠の共有不足<br/>○町内会毎のゴミステーション設置<br/>→ゴミの飛散等にならないような管理の方法が課題<br/>○民有地を活用する際には権利関係<br/>○家電、粗大ゴミの不法投棄</p> <p><b>【(問題の)原因として考えられること】</b><br/>○「分別＝手間がかかる」という認識も少なからずある<br/>○野焼きの禁止<br/>○ゴミ袋または粗大ゴミの有料化<br/>○転入間もない町民も多いため、分別方法がわからない</p> <p><b>【課題解決に向けて利用・活用できそうな資源・強み】</b><br/>○登録制度用ゴミ袋の創設（登録制度により“しっかり分別する意思表示”を示すシールをゴミ袋に貼付） → ゴミ袋「10枚入り 200円」を「20枚入り 200円」等消費者の経済的負担を軽減<br/>○高校生までの教育<br/>○町職員と町民のゴミ回収ウォークラリー<br/>○ゴミステーションなど町内にダストボックスの設置を増やす<br/>○集団回収奨励の更なる推進（町内会からの意見により保管場所設置、町内会への助成の活用）<br/>○渡島地方にて統一したゴミ処理の取組み<br/>○デポジットシステム導入</p> <p><b>【「ゴミ」から自然に優しい「資源」への推進、分別への理解の共有】</b><br/>○しっかり分別する意思表示 → 消費者負担の軽減等のメリットの享受、高校生までの家庭内教育の意識向上<br/>○集団回収の奨励等によりしっかり分別する町内会（地域）には、助成を推進する</p> |  |
| <p><b>具体的な目標</b></p>  | <p><b>期待される効果</b></p>   |   |  |
| <p>○町内にゴミステーションの設置増加及び集団回収の奨励、助成を推進する。<br/>○指定ゴミ袋の選択肢を増やし、しっかり「分別する意思のある町民」の経済的負担を軽減する。</p>   | <p>○ゴミ回収の効率化<br/>○正しい分別方法の共有<br/>○リサイクル資源品として再利用・再活用<br/>○環境保全に対する意識向上</p>  |   |  |
| <p><b>住民・地域の役割</b></p>  | <p><b>町（行政）の役割</b></p>  |   |  |
| <p>○ゴミ回収保管場所の保守、管理<br/>○家庭・地域における教育<br/>○町内会単位のゴミ集団回収への協力・推進等</p>   | <p>○小学生・中学生への教育及び高校生参加型のゴミ回収ウォークラリー等の企画立案<br/>○町内会単位のゴミ回収保管場所の設置<br/>○集団回収への協力周知及び助成の推進<br/>○渡島地方単位でのゴミ回収に関する統一した取組み等</p> |   |  |

# 社会生活基盤・自然環境グループ②

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p><b>課題テーマ</b></p>  | <p><b>自然環境に関する施策</b></p>   |   |
| <p><b>提案事業・施策の名称</b></p>   | <p>呼び起こそう！「自然美術館 八雲」</p>   |   |
| <p><b>提案事業・施策の内容</b></p>   | <p><b>提案事業・施策の取り組みの図解（イメージ）</b></p>  |   |
| <p>&lt;事業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○このプロジェクトは、町民と行政がいっしょになってアイデアを出し合う。</li> <li>○「自然美術館 八雲」を復活し、「抽象的な自然」から「具体的な自然」へのシフトチェンジを図る。</li> </ul> <p>&lt;参加者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自然が好きもしくは興味・関心がある町民及び町職員</li> <li>○参加者は、自分で持っているスキル（写真が撮ることが好き、鳥に詳しいなど自然と関連するもの）を持っているとなお良い。</li> </ul> <p>&lt;プロジェクト開催の流れ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○プロジェクトチームの立ち上げ→顔合わせ、プロジェクト検討→現場検証→プロジェクト実施→効果の検証→次回へ反映</li> </ul> |  |   |
| <p><b>具体的な目標</b></p>   | <p><b>期待される効果</b></p>  | <p><b>具体的なプロジェクト</b></p> <p><b>「〇〇する自然」をテーマとしたプロジェクト</b></p>  |
| <p>○八雲町としてPRしたい「具体的な自然」を確立・具現化し、観光資源を再発見し、「自然美術館 八雲」を復活する。</p>   | <p>○町民と行政の協働</p> <p>○八雲町の新たな魅力の発見</p> <p>○八雲町を目的として来町する町外旅行者の増加</p>                      | <p><b>“見る”自然</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ビューポイント整備</li> <li>☆カメラマンやカメラを趣味としている人からの情報収集</li> <li>☆ビューポイントとの周辺整備</li> <li>☆ツアーの計画（カメラ、スマホ）</li> </ul> <p><b>“食べる”自然</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆地元食材を使用した料理講習やBBQ</li> <li>☆地産地消</li> </ul> <p><b>“遊ぶ”自然</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆体験事業（海、川、山）</li> <li>☆星空観察会</li> </ul> <p><b>“学ぶ”自然</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆自然を大切にすることを育む</li> </ul> |
| <p><b>住民・地域の役割</b></p>   | <p><b>町（行政）の役割</b></p>   | <p><b>“ホテルが見ることができるパノラマパーク”</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ホテルを育成できる環境整備</li> <li>☆撮影ツアー</li> </ul>  |
| <p>○得意とする分野を發揮する場</p> <p>○他の参加者の提案等からの学び</p> <p>○プロジェクトの推進。ゆくゆくは担い手へと。</p>   | <p>○場の設定（参加者募集、会場設営、当日の運営）</p> <p>○周辺の環境整備</p> <p>○プロジェクトの推進</p> <p>○広報やHP等での情報収集と発信</p> |   |

# 社会生活基盤・自然環境グループ③

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>課題テーマ</b></p>   | <p><b>新幹線に関するまちづくりと公共交通に関する施策</b></p>   |   |
| <p><b>提案事業・施策の名称</b></p>  | <p><b>自然を活用した新幹線駅まちづくり整備事業</b></p>  |   |
| <p><b>提案事業・施策の内容</b></p>  |   | <p><b>提案事業・施策の取り組みの図解（イメージ）</b></p>   |
| <p><b>&lt;事業の内容&gt;</b><br/>                 ○北海道新幹線札幌開業に伴い新八雲（仮称）駅も開業するため、新幹線駅を活用した道路交通網等の公共交通のネットワークと新たな観光ルートの構築を提案する。</p> <p><b>&lt;参加者&gt;</b><br/>                 ○八雲町内産業団体<br/>                 ○公募等によるまちづくりに関心のある町民や各種団体に所属する町民など<br/>                 ○行政職員</p> <p><b>&lt;開催の流れ&gt;</b><br/>                 ○（第1回）検討内容の設定⇒（第2回）課題の解決策の検討⇒（第3回）八雲町への提案</p> |   | <div style="border: 1px solid #00aaff; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【背景】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇新八雲（仮称）駅は市街地から約3km離れた農地に建設予定</li> <li>◇建設予定地は農地により、過大な整備は適さない</li> <li>◇既存の町内各所と接続できる公共交通手段がない</li> <li>◇新幹線はまちづくりのためのひとつのツールに過ぎない</li> <li>◇高齢者ドライバー（公共の福祉）、買い物が楽しみにされている町民も多い</li> </ul> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid #00aaff; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>【具体的な問題点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「八雲=○○」という全国的な認知度、知名度に乏しい</li> <li>○全国的に有名な駅弁がない</li> <li>○郊外に住む町民の生活路線の確保</li> <li>○道路交通網の整備<br/>→国道277号雲石峠の更なる交通安全の確保</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid #00aaff; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>【(問題の)原因として考えられること】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○八雲町は観光の町ではない（旅の目的地ではない）</li> <li>○新幹線駅に到着した時点での移動手段が少ない</li> <li>○町民の日常生活に不便が生じないか</li> <li>○魅力あるまちであれば、人は来るのではないか</li> </ul> </div> </div> <div style="border: 1px dashed #00aaff; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【課題解決に向けて利用・活用できそうな資源・強み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新幹線駅周辺に公園、足湯、観光案内所、観光牧場を設ける</li> <li>○町内各所を巡行する循環バス、乗合タクシーを設ける</li> <li>○コンパクトシティ化+ネットワーク化</li> <li>○北海道らしい広大な景観</li> <li>○二つの海の水産資源、釣りの名所、温泉、紅葉、乳製品、ホテルの見られる唯一の新幹線駅</li> <li>○観光馬車（ゆったりした時間の提供）</li> <li>○河川敷地を遊歩道・サイクリングコースの整備し、新幹線駅周辺まで延長する</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【新幹線駅を活用した新たな観光ルート確立への提言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○八雲町に来ないと体感できない自然の醍醐味、八雲町に来ないと手に入らない商品・サービスの提供<br/>→観光馬車、二つの海・川での釣り、ホテルの見られる公園・新幹線駅等の魅力を発信</li> <li>→八雲町自らがPRしたい世代に対し、最も効果的なメディアを活用したPR</li> <li>○新幹線駅の利用につながる町内及び国道277号線の道路交通網の整備</li> </ul> </div> |
| <p><b>具体的な目標</b></p>  | <p><b>期待される効果</b></p>   |   |
| <p>○新幹線駅周辺の観光資源や八雲町全体の公共交通を検討し、町全体へ新幹線駅設置による地域振興が図られることができるような提言を目標とする。</p>   | <p>○八雲町全体の新幹線を含むまちづくりに対する機運を高めることができる</p> <p>○まちづくりに関する多様な視点からの提案</p> <p>○「八雲町」の知名度アップとする材料の創出 等</p>                      |   |
| <p><b>住民・地域の役割</b></p>  | <p><b>町（行政）の役割</b></p>  |   |
| <p>○新幹線駅周辺の観光資源の再発見など多様な視点に基づく提案</p> <p>○観光、商業等を中心とした地域のPRの先導 等</p>   | <p>○ワークショップ等町民の意見を集約できるような場の設定</p> <p>○多様な提案からのまちづくり計画への反映の検討</p> <p>○八雲町の魅力PRの推進、観光旅行者ニーズの把握</p> <p>○効果的な情報発信媒体の検討 等</p> |   |



# 産業・雇用グループ

|  |                                   |   |  |
|--|-----------------------------------|---|--|
| <p><b>課題テーマ</b></p>  | <p>若い人が出て行く町から、来る町へ（経済活動の活性化）</p> |   |  |
| <p><b>提案事業・施策の名称</b></p>   | <p>地域産業育成基金（新チャレンジ基金）</p>         |   |  |
| <p><b>提案事業・施策の内容</b></p>   |                                   | <p><b>提案事業・施策の取り組みの図解（イメージ）</b></p>   |  |
| <p>&lt;事業の内容&gt;<br/>                 ◇新たな雇用の創出、所得の増進、起業、他分野への参入、地域産業に根差した経済活動の発展に繋がる新規事業に対し助成することで経済活動を活性化させる。<br/>                 &lt;期間&gt;<br/>                 ◇5年間（※事業終了時、効果検証し事業評価する。）<br/>                 &lt;財源&gt;<br/>                 ◇ふるさと応援寄附金を財源とする。<br/>                 ◇1億円を基金造成し、年間20,000千円を上限に5年間取り崩しながら事業を展開する。<br/>                 &lt;助成額及び補助率&gt;<br/>                 ◇1事業に対し、上限200万円、下限50万円とする（事業費ベースで100万円以上）。◇補助率=対象事業費の1/2<br/>                 &lt;対象事業&gt;<br/>                 ◇地域の産業に根差した新規雇用の創出、所得の増進、新規産業の発掘（スキマ産業等）、起業、他分野への参入等に寄与する新規事業。<br/>                 ◇雇用と所得を創出することを目標とすることから、文化的な事業は対象外とする。<br/>                 ◇選考委員会により助成対象か否かを審査・選考する。<br/>                 &lt;選考委員会&gt;<br/>                 ◇役場や銀行の融資担当者等、プロを含めた人員で構成された選考委員会を設置し、審査・選考・事業検証をする。<br/>                 &lt;その他条件等&gt;<br/>                 ◇助成を受けた事業主は事業の経過を3年間レポート提出し、レポートは町HPで公開する。<br/>                 ◇審査会において経営コンサルタント等の支援が必要と判断された新規事業者は、事業開始時と事業開始から半年経過時に、経営コンサルタント等のアドバイスを必ず受けることとする。<br/>                 &lt;事業の例&gt;<br/>                 ◇八雲の素晴らしい食材を生かした駅弁を作るプロジェクト。 ◇補助、助成ではなく住民ファンド型融資の手法も考えられる。</p> |                                   | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【背景】</b></p> <p>◇就業場所の確保や雇用の充実を図るなど、経済活動を活発にしなければ、加速する人口減に歯止めをかけることができない。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>【具体的な問題点】</b></p> <p>◇景気の先行き不透明感もあり、地元企業や個人が新規事業に対して大胆な投資をしない（できていない）。<br/>                     ◇八雲町の資源を十分に活用できていない、PRできていない。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>【問題の原因として考えられること】</b></p> <p>◇現状維持等、堅実な経営で満足している。<br/>                     ◇八雲町の資源を住民が認識できていない。（外部からは、ポテンシャルがあるとみられている。）</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p><b>【課題解決に向けて利用・活用できそうな資源・強み】</b></p> <p>◇水産資源 ◇農産物 ◇自然・動植物（海・山・川が揃っている）◇八雲町の企業<br/>                     ◇八雲町の住民 ◇ふるさと応援寄附金 ◇歴史・風土</p> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"><b>新規事業への助成</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【新規事業への助成イメージ】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 18%;"> <p style="text-align: center;"><b>事業募集</b></p> <p>&lt;応募者&gt;<br/>                             ◇企業<br/>                             ◇個人 等</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 18%;"> <p style="text-align: center;"><b>審査・選考</b></p> <p>&lt;選考委員会開催&gt;<br/>                             ◇プロを含めた委員により審査・選考<br/>                             ◇厳しい選考基準により選考</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 18%;"> <p style="text-align: center;"><b>事業へ助成</b></p> <p>&lt;助成金&gt;<br/>                             ◇上限：2,000千円、下限：500千円<br/>                             ◇対象事業費の1/2</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 18%;"> <p style="text-align: center;"><b>事業への支援</b></p> <p>&lt;支援&gt;<br/>                             ◇経営コンサルタントや町内有識者からアドバイス（2回）<br/>                             ・事業スタートアップ時<br/>                             ・事業開始から半年後</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 18%;"> <p style="text-align: center;"><b>経過観察・情報発信</b></p> <p>&lt;経過観察&gt;<br/>                             ◇事業の経過をレポート報告（3年間）<br/>                             &lt;情報発信&gt;<br/>                             ◇レポートを町HPで公開</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> <p><b>事業の検証</b><br/>                     （※選考委員会メンバーによる）</p> </div> </div> |  |